

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●川田将雅騎手がJRA通算1万回騎乗を達成

1月6日(月)の1回京都2日・第9レースとして行われた許波多特別でショウリュウイクゾに騎乗した川田将雅騎手(栗東・フリー)は、この騎乗で史上40人目、現役27人目となるJRA通算1万回騎乗を達成しました。

●松下武士調教師がJRA通算100勝を達成

1月5日(日)の1回京都1日・第2レースではロードグリュックが1着となり、同馬を管理する松下武士調教師(栗東)は、現役149人目となるJRA通算100勝(延べ1390頭目)を達成しました。

●リスグラシューが年度代表馬に輝く

2019年度のJRA賞各賞は下記の通りとなりました。騎手部門ではクリストフルメール騎手(栗東・フリー)が最多勝利、最多賞金獲得、MVJ、川田将雅騎手(栗東・フリー)が最高勝率の各タイトルを獲得し、森一馬騎手(栗東・松永昌博厩舎)が最優秀障害騎手、斎藤新騎手(栗東・安田隆行厩舎)が最多勝利新人騎手を受賞。調教師部門では安田隆行調教師(栗東)が最多勝利、中内田充正調教師(栗東)が最高勝率と優秀技術調教師、矢作芳人調教師(栗東)が最多賞金獲得の各賞に輝きました。また馬事文化賞は早見和真氏の小説『ザ・ロイヤルファミリー』(新潮社)が受賞しています。

- 年度代表馬……………リスグラシュー(栗東・矢作芳人厩舎)
- 最優秀2歳牡馬……………コントレイル(栗東・矢作芳人厩舎)
- 最優秀2歳牝馬……………レシステンシア(栗東・松下武士厩舎)
- 最優秀3歳牡馬……………サートゥルナーリア(栗東・角居勝彦厩舎)
- 最優秀3歳牝馬……………グランアレグリア(美浦・藤沢和雄厩舎)
- 最優秀4歳以上牡馬……………ウインブライト(美浦・畠山吉宏厩舎)
- 最優秀4歳以上牝馬……………リスグラシュー(栗東・矢作芳人厩舎)
- 最優秀短距離馬……………インディチャンプ(栗東・音無秀孝厩舎)
- 最優秀ダートホース……………クリソベリル(栗東・音無秀孝厩舎)
- 最優秀障害馬……………シンゲンマイケル(美浦・高市圭二厩舎)

●ダンスインザダークが死亡

1月2日(木)、北海道安平町の社台スタリオンステーションにおいてダンスインザダーク(牡27歳)が死亡しました。1996年菊花賞(G1)を制して同年のJRA賞最優秀3歳牡馬に選出された同馬は、JRA通算8戦5勝の成績を残して引退。種牡馬としてはザッツプレンティ(菊花賞)、ツルマルボーイ(安田記念)、デルタブルース(菊花賞、メルボルンC)、スリーロールズ(菊花賞)などを出し、種牡馬からも引退後は功労馬として余生を送っていました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ばんえい競馬のホクショウマサルが国内最多連勝記録の30連勝

サラブレッドのドージマファイター(牡、足利)が2000年に達成した29連勝に並んでいたばんえい競馬のホクショウマサル(牡9歳)は、1月6日のばんえい十勝金杯(準重賞、200万円)で1着となり、国内最多連勝記録を更新する30連勝を達成しました。

●イチライジンが園田ジュニアCを圧勝【各地の主要2歳重賞】

園田ジュニアC(12月31日、園田、1700万円)は、4番手から4コーナーで先頭に立った4番人気のイチライジン(牡、父キングヘイロー)が7馬身差で圧勝。金の鞍賞(12月28日、高知、1400万円)は、北海道在籍時にフルールC2着の実績がある1番人気のレイズパワー(牝、父ヘニーヒューズ)が、2番手追走から直線半ばで抜け出しました。ライデンリーダー記念(12月30日、笠松、1600万円、牝馬)は、3番手から3、4コーナー中間で先頭に立った北海道から笠松への移籍馬ニュータウンガール(父スズカコーズウェイ)が後続を3馬身引き離し、単勝1.1倍の圧倒的支持に応えています。東京2歳優駿牝馬(12月31日、大井、1600万円、牝馬)は、中国から追いつけた2番人気のレイチェルウーズ(父ヘニーヒューズ)が残り100万円で差し切り、デビュー以来の連勝を4に伸ばしました。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●2019年の北米競馬～イントゥミスターフが首位種牡馬

2019年の北米競馬における各種統計がまとまり、北米チャンピオンサイアーにはイントゥミスターフ(2005年生まれ、父ハーランズホリデー)が初めて輝きました。G1ブリーダーズCフィリー&メスプリントとG1テストSを制したコヴフェフェ、G1フナディスタフSを勝ったミアミスターフと産駒2頭がG1に優勝。取得賞金は1891万6923ドル(約20億8086万円/1ドル110円で換算)でした。騎手は、I.オルティスJr.騎手(27歳)が史上初めて年間取得賞金3000万ドル超えを果たして(3410万9019ドル=約37億5199万円/1ドル110円で換算)、2年連続2度目の首位。ブリックスアンドモルタルでG1ブリーダーズCターフやG1ペガサスワールドCターフを含むG1・5勝をあげたほか、ヴィーノロッソではG1ブリーダーズCクラシックにも優勝。計11のG1を制しました。なお、2位には弟のJ.オルティス騎手(2017年の首位騎手)が入り、2年連続して兄弟でワンツーフィニッシュとなっています。調教師は、C.ブラウン調教師(41歳)が4年連続4度目のチャンピオン。上記ブリックスアンドモルタルのほか、G1ブリーダーズCマイルやG1ファーストレディSを制したユニなどを管理してG1は計20勝。取得賞金はこちらも史上初の3000万ドルオーバー(3111万2144ドル=約34億2233万円/1ドル110円で換算)となりました。